



## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月11日

上場会社名 株式会社エスケーエレクトロニクス 上場取引所 東  
 コード番号 6677 URL <https://www.sk-el.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 石田 昌徳  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 向田 泰久 TEL 075-441-2333  
 半期報告書提出予定日 2026年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	14,359	0.6	3,195	△12.0	2,354	10.0	2,672	15.8	1,837	10.6
2025年9月期中間期	14,276	17.5	3,630	66.8	2,139	151.1	2,307	176.7	1,662	162.2

（注）包括利益 2026年9月期中間期 2,350百万円（50.2%） 2025年9月期中間期 1,565百万円（1.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	176.93	—
2025年9月期中間期	160.07	—

（注）EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期中間期	43,271	35,601	82.3	3,424.21
2025年9月期	42,519	34,590	81.4	3,331.11

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 35,601百万円 2025年9月期 34,590百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	130.00	130.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	152.00	152.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	4.5	6,500	△9.3	4,600	19.4	4,600	19.6	3,200	17.2	307.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期中間期	11,368,400株	2025年9月期	11,368,400株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	971,493株	2025年9月期	984,193株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年9月期中間期	10,387,848株	2025年9月期中間期	10,384,228株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、役員向け株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式を含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調が継続しました。一方で、長期化する地政学リスクなどを背景とした原材料価格の高止まり、米国の通商政策動向や関税措置、日米欧における金融政策の転換局面を背景とした金融市場の変動などにより、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、フラットパネルディスプレイ業界におきましては、第1四半期に下落したテレビ向け液晶パネルの価格は、第2四半期においては、サッカーワールドカップに向けたテレビの買い替え需要や半導体メモリー価格の上昇を見越した早期調達の進展により、緩やかに上昇いたしました。モニターやノートパソコン、タブレットといったIT製品向けでは、OSのサポート終了やAI搭載パソコンの普及、車載パネル向けでは、パネルの採用箇所の増加や大型化などを背景に、高精細化や高機能化などの液晶パネル開発が継続して行われました。さらに、第8世代有機ELパネル工場においては、量産立ち上げに向けた工程が進展していることから、今後の稼働を見据えた案件が増加いたしました。

このような状況の中、当中間連結会計期間における当社グループの売上高につきましては、143億59百万円(前年同期比0.6%増)となりました。利益につきましては、営業利益23億54百万円(前年同期比10.0%増)、経常利益26億72百万円(前年同期比15.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益18億37百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。なお、売上高はセグメント間取引の相殺除去後の数値を記載しております。

## (大型フォトマスク事業)

大型フォトマスク事業においては、韓国、中国市場で第8世代有機ELパネル工場向けの需要が増加したほか、中国、台湾市場ではIT製品、車載パネル向けに液晶パネル用の需要が増加しました。一方で、日本市場では前中間連結会計期間に活況を呈したVRデバイス向け液晶パネル用の需要が減少しました。

	2025年9月期 中間連結会計期間	2026年9月期 中間連結会計期間	増減率
売上高	14,237百万円	13,911百万円	△2.3%
営業利益	2,274百万円	2,474百万円	+8.8%

## (ソリューション事業)

ソリューション事業では、RFID分野において「エクストリームタグ」の売上が減少しました。

	2025年9月期 中間連結会計期間	2026年9月期 中間連結会計期間	増減率
売上高	38百万円	35百万円	△8.8%
営業利益	△134百万円	△154百万円	—

## (スクリーンマスク・メタルマスク事業)

アサヒテック株式会社の数値となります。当事業における主要製品は、スクリーンマスクおよびメタルマスクです。スクリーンマスクは、車載ガラスや電子部品の印刷工程に、メタルマスクは、半導体パッケージなどの製造におけるはんだペーストの印刷工程などに使用される、高精度な製造用原版です。

	2025年9月期 中間連結会計期間	2026年9月期 中間連結会計期間	増減率
売上高	一百万円	412百万円	—
営業利益	一百万円	34百万円	—

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて7億52百万円増加し432億71百万円となりました。これは主に、流動資産のその他に含まれる未収入金が減少した一方で、有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億58百万円減少し76億70百万円となりました。これは主に、電子記録債務が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて10億10百万円増加し356億1百万円となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2025年11月10日に公表いたしました「2025年9月期決算短信」から変更はありません。なお、通期の個別業績予想については、変更を行っております。本日公表いたしました「2026年9月期第2四半期累計期間(中間期)業績予想と実績値の差異および通期個別業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,684,641	9,588,527
受取手形及び売掛金	8,638,526	8,123,091
電子記録債権	100,570	13,508
商品及び製品	237,953	195,961
仕掛品	272,629	304,102
原材料及び貯蔵品	3,811,245	4,378,833
その他	1,807,569	888,356
貸倒引当金	△2,062	△1,747
流動資産合計	24,551,072	23,490,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,300,688	3,143,152
機械装置及び運搬具(純額)	9,221,408	8,825,704
土地	1,905,402	1,905,402
建設仮勘定	861,872	2,881,948
その他(純額)	383,633	425,916
有形固定資産合計	15,673,005	17,182,124
無形固定資産		
のれん	194,390	184,248
ソフトウェア	136,270	115,747
その他	101,490	101,889
無形固定資産合計	432,150	401,884
投資その他の資産		
その他	1,864,849	2,208,584
貸倒引当金	△1,800	△11,800
投資その他の資産合計	1,863,049	2,196,784
固定資産合計	17,968,206	19,780,794
資産合計	42,519,278	43,271,429

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,816,578	2,788,111
電子記録債務	1,735,992	1,237,102
未払法人税等	522,874	789,449
役員賞与引当金	51,366	36,512
その他	2,071,037	2,025,727
流動負債合計	7,197,849	6,876,902
固定負債		
役員株式給付引当金	179,080	169,257
その他	551,423	624,078
固定負債合計	730,503	793,335
負債合計	7,928,352	7,670,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,722	4,109,722
資本剰余金	4,277,483	4,277,483
利益剰余金	23,524,064	23,993,037
自己株式	△1,185,999	△1,157,345
株主資本合計	30,725,270	31,222,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	755,065	987,889
為替換算調整勘定	3,107,959	3,361,055
繰延ヘッジ損益	2,630	29,349
その他の包括利益累計額合計	3,865,655	4,378,294
純資産合計	34,590,925	35,601,191
負債純資産合計	42,519,278	43,271,429

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	14,276,141	14,359,096
売上原価	10,689,230	10,360,245
売上総利益	3,586,911	3,998,851
販売費及び一般管理費	1,447,050	1,643,993
営業利益	2,139,860	2,354,858
営業外収益		
受取利息	11,025	24,285
為替差益	217,326	275,997
不動産賃貸料	16,969	16,973
その他	45,907	22,329
営業外収益合計	291,229	339,585
営業外費用		
支払利息	4,031	1,590
不動産賃貸原価	4,337	4,664
支払手数料	115,485	5,828
貸倒引当金繰入額	—	10,000
その他	0	23
営業外費用合計	123,854	22,106
経常利益	2,307,235	2,672,337
特別損失		
固定資産除却損	41	7,369
関係会社株式評価損	—	28,000
特別損失合計	41	35,369
税金等調整前中間純利益	2,307,194	2,636,967
法人税、住民税及び事業税	508,771	835,914
法人税等調整額	136,204	△36,899
法人税等合計	644,975	799,015
中間純利益	1,662,218	1,837,952
親会社株主に帰属する中間純利益	1,662,218	1,837,952

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	1,662,218	1,837,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,091	232,823
為替換算調整勘定	△67,512	253,095
繰延ヘッジ損益	△6,566	26,719
その他の包括利益合計	△97,170	512,638
中間包括利益	1,565,048	2,350,590
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,565,048	2,350,590

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	2,307,194	2,636,967
減価償却費	1,490,367	830,369
のれん償却額	—	10,142
貸倒引当金の増減額(△は減少)	222	9,685
関係会社株式評価損	—	28,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,189	△14,854
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	14,307	△9,822
受取利息及び受取配当金	△21,389	△35,067
支払利息	4,031	1,590
固定資産除却損	41	7,369
売上債権の増減額(△は増加)	△1,697,651	672,602
棚卸資産の増減額(△は増加)	297,178	△520,025
仕入債務の増減額(△は減少)	556,128	△550,240
その他	△104,379	803,102
小計	2,834,861	3,869,820
利息及び配当金の受取額	19,052	34,513
利息の支払額	△3,993	△1,549
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△194,897	△581,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,655,023	3,321,572
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,901,660	△2,121,749
無形固定資産の取得による支出	△327	△11,310
定期預金の預入による支出	—	△644,800
有価証券の取得による支出	△1,996,690	—
貸付金の回収による収入	250	—
その他	△27,624	△9,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,926,052	△2,787,843
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース負債の返済による支出	△8,467	△13,023
長期借入金の返済による支出	△400,000	—
配当金の支払額	△1,147,838	△1,368,978
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,556,306	△1,382,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33,687	104,759
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,861,023	△743,513
現金及び現金同等物の期首残高	12,482,607	9,684,641
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,621,583	8,941,127

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社グループが保有する大型フォトマスク事業に係る機械装置について、従来は耐用年数を5年として減価償却を行ってまいりました。しかしながら、装置性能の向上に加え、フラットパネルディスプレイ市場における高精細化・高機能化が一定の水準に達していることを背景に、今後の技術革新の速度は緩やかになると当期において判断いたしました。これを踏まえ、当該機械装置の稼働状況を検討した結果、従来の耐用年数と経済的使用可能予測期間の乖離が生じることから、当中間連結会計期間より耐用年数を10年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方と比べて、当中間連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益がそれぞれ969,095千円増加しております。

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額(注)
	大型フォトマスク事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,237,538	38,603	14,276,141	—	14,276,141
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	727	727	△727	—
計	14,237,538	39,330	14,276,868	△727	14,276,141
セグメント利益又は損失(△)	2,274,370	△134,510	2,139,860	—	2,139,860

(注) セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益計算書計上額(注)
	大型フォトマスク事業	ソリューション事業	スクリーンマスク・メタルマスク事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,911,724	35,220	412,151	14,359,096	—	14,359,096
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	730	—	730	△730	—
計	13,911,724	35,951	412,151	14,359,827	△730	14,359,096
セグメント利益又は損失(△)	2,474,483	△154,581	34,956	2,354,858	—	2,354,858

(注) セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

前第3四半期連結会計期間にアサヒテック株式会社の全株式を取得し、連結子会社としております。これに伴い、「スクリーンマスク・メタルマスク事業」を新たに報告セグメントとして追加しております。

(耐用年数の変更)

(会計上の見積りの変更)に記載のとおり、当社グループが保有する大型フォトマスク事業に係る機械装置について、従来、耐用年数を5年として減価償却を行ってきましたが、当中間連結会計期間より耐用年数を10年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、大型フォトマスク事業の当中間連結会計期間のセグメント利益は969,095千円増加しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。